

つながるために、

伝えたいんだ。

“きこえない映画監督” 今村彩子が
日本縦断の旅をして見えてきたものとは。



名東区制50周年記念

令和6年度名東区障がい啓発イベント

自転車日本縦断ロードムービー スタートライン

Start Line

映画上映 & 今村彩子監督によるトークセッション

2024年

12月3日(火) 13:30~16:30

受付開始13:00より (入場無料)

名東文化小劇場

名古屋市名東区上社1丁目802上社ターミナルビル3階
アクセス：地下鉄東山線上社駅1番出口すぐ

日本語字幕付き
上映

当日先着300名
(事前申込不要)

手話通訳・要約筆記あり
(トークセッションのみ)



映画を見ている自分の顔が、
困った顔や、つらそうな顔、微笑んだ顔、
笑った顔など、いろんな顔に
なっていることに気がきました。

真崎 文明
〈株式会社モンベル 代表取締役社長〉

笑いも、怒りも、涙もすべて。
それは「ためらい」の連続であり、
そこには嘘も飾りも脚色もない。

松森 果林
〈ユニバーサルデザインアドバイザー〉

答えを求めて旅に出た
今村監督の姿そのものが、
コミュニケーションとは何かを
指し示すひとつの答え。

瀬瀬 あや
〈映画監督/「祝の島」「ある精肉店のはなし」〉

今村さん、すごくいい人。ホントいい人。
映画としての正義と
人としての正義はなんなのか？
考えちゃいました。

平野 勝之
〈映画監督/「由美香」「監督失格」〉



カメラを回した時間
計 349時間31分



自転車日本縦断ロードムービー スタートライン

Start Line

完走後の体重
私: +0.5kg
伴走者: -12kg

“聞こえない映画監督”今村彩子は2015年夏、自転車で日本縦断の旅に出る。

荒天、失敗に次ぐ失敗、“聞こえる人”とのコミュニケーションの壁に、
へこみ、涙し、それでもひたすら最北端の地に向けて走り続ける。
そんな彼女の姿を追うのは、伴走者にしてカメラ撮影を担う“哲さん”。



「コミュニケーションを、あなた自身が切っている!」

出会った人の数
約300人

相手を想うがゆえの容赦のない言葉に、一触即発の危機が訪れる…。

そして、聴力を失ったサイクリスト、ウィルとの奇跡的な出会い。

はたして彼女はどんな答えを見つけるのか？ 人生の旅そのものの3,824km。

ニッポン中のためらう人に観てほしい、一篇の勇気のおすそわけです。



日本No.1クラウドファンディング
READYFOR OF
THE YEAR 2015
READYFOR
Lady賞 受賞



監督 今村 彩子
Studio AYA代表/名古屋出身
大学在籍中に渡米し、映画制作を学ぶ。
「架け橋 きこえなかった3.11」(2013)は、
ドイツの日本映画専門映画祭で
ニッポンビジョン部門 観客賞を受賞。
「珈琲とエンピツ」(2011)のCMは
第48回ギャラクシー賞CM部門に入賞する。

主催



つながる、
ここにある、
みんなのまち。

名東区自立支援連絡協議会

お問合せ先

名東区障害者基幹相談支援センター

TEL 052-739-7524 FAX 052-739-5330

